

入院中のお食事について

入院中の食事は「一般食」「特別治療食」があり、主治医が疾患に合わせて食事の内容を決定します。それを基に、患者さんの病態に応じて安全で治療効果の上がる食事を提供いたします。

安全な
食事の提供

徹底した
衛生管理

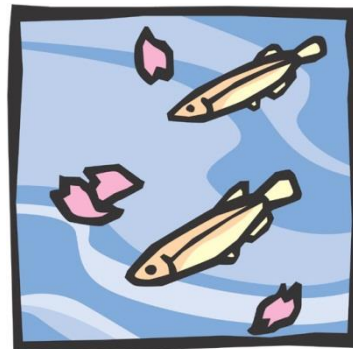
適正な
食事の提供

個人対応食
※

※治療に伴う食欲不振・摂食嚥下困難・食物アレルギーなど、通常の食事が食べにくい方や食べられない方には個別に対応。一人ひとりの食事摂取量を把握し、なるべく要望に近いものを提供しております。

食材へのこだわり

魚（鮭・エビを除く）は近海で獲れた生鮮魚を使用し、その他の食材も国産を念頭において購入。食材だけでなく調味料も、たくさんの種類の中から食材に一番合うものを検討しております。



栄養相談

治療食や栄養について、管理栄養士が栄養指導を行っております。入院中のお食事の説明や、退院時にはご自宅での食事療法に取り組む意欲を持っていただくため、資料やフードモデルを使用して分かりやすく丁寧にご説明いたします。



患者さんの反応

年に2回、「お食事アンケート」を実施。頂いたご意見を参考に、より満足していただける食事を提供できるよう、日々努力しております。また、調理方法や調味料等のお問い合わせが多く、集団での教室では試食会も行っています。



なでしこさん
松山病院キャラクター

アンケートでの患者さんのご意見

【食事の感想】

- 栄養のバランスも味付けも良く、美味しいお食事です。（50代・女性）
- 当院の食事は美味しいと聞いていましたが、噂通りでした。（80代・女性）
- いつも食事をありがとうございます。
糖尿病になり、現在までの食事が如何に暴飲暴食であったか気付かされました。
今後の参考にさせていただきます。（50代・男性）
- 朝の果物がデザート感覚で嬉しいです。（30代・女性）



【改善事項】

- 味噌汁が冷めている。（60、70、80、90代男性）
- アンケートでは「汁物がぬるい、冷たい」という意見が多く見られたため、改善策として「具材を温めてからお汁を入れる」という対応に変更いたしました。

この他にも、たくさんのご意見を頂きました。ご協力ありがとうございました！

～管理栄養士の声～

当院の食事は、必要エネルギー量や栄養バランスを考えて作られています。ご自宅での普段の食事と比べてみてください。エネルギーの過剰摂取（食べ過ぎ）や栄養アンバランス（偏食）になっていませんか？これを機に、「10年先を考えた食事」を考えてみましょう。基礎代謝の低下が始まる30歳頃から食べる量を考え、抗酸化食品や免疫能力を高めるような食品（リコピンやアントシアニンなどを含む緑黄色野菜、ニンニクやニラ・生姜などの香味野菜）を食べ始めるのが良いとされています。スタートは今からでも遅くはありません、これから始めましょう。女性なら「美的加齢」、男性なら「活力満ちた年をとりたい」など、何十年先の自分の理想の姿を思い描き、その実現を目指して食生活を設定していきませんか？まずはその第一歩として、当院の食事を今後の食生活の参考にいただければ幸いです。

